資料８　作業分解票サンプル

作業分解票

作　業　名：パック作業（レベル３　ピーマン編）
準　備　物：パッカー台、フィルム小、パック商品見本３（ピーマン２個）、トレーNo. ２（11個×訓練生数）、ピーマン（22 個×訓練生数）、カゴ（２個）ストップウォッチ

主なステップ	作業手順	急所と理由
準備	作業台上の配置は、自分の正面にパッカー台、その左側にピーマン・トレー・パック商品見本を入れたカゴ、右側にパックした後に入れるカゴを置く。 パッカー台にフィルムをセット。 （フィルムセットの仕方は、別紙作作業分解票を参照） パッカー台の電源を入れる。	パック商品見本は、自分のパックと間違えないように、左側のカゴに入れる。 フィルムをセットしてから電源を入れないと、カッター刃で火傷することがあるので、注意を促す。
パック	トレーNo. ２にピーマン２個をのせる。	色違いのピーマンを１個ずつという方法もある。この方法を取る時には、左に何色、右に何色と決めることがポイント。
	パッカー台に左写真のように置いて、フィルムを引き出す。	人差し指と親指でフィルムの端を持つと、引き出しやすい。 カッター刃で火傷することがあるので、注意を促す。
	フィルムを商品にかぶせて、トレーの裏側に巻き込み、上側を両手で持つ。	フィルムの長さは、トレーの後ろに回した時に、トレーの半分まで届く程度にする。 人差し指と親指でトレーの角（左右）をつまみ、他の指をトレーの裏に差し込むようにして巻き込む。
	トレーを持ち上げ、手前に引きながらフィルムを引き出し、トレー全体がカッター刃を超えたところでフィルムを切り、熱板に押さえる。	熱板にのせるとフィルムがトレーに接着され固定される。ただし、野菜など商品によっては熱板を使用しない場合もある。

		上になった方のフィルムのシワを伸ばし、フィルムを引っ張る。	完成時にフィルムがダマにならないよう、フィルムの端のシワを伸ばしておくことが大切
		引っ張ったフィルムをトレーの裏に回す。もう片方を同じようにフィルムをのばす。	裏側についても、フィルムがダマにならないようにする
		最後にもう一度、熱板に押さえて完成	完成したトレーを熱板にのせるとフィルムが接着される。商品によっては熱板を使わずにセロテープで止めることもある。
検品	 	良、不良のチェックをする。	トレーの上側、裏側、全体を見てシワが寄ったり、ダマになっていないかを調べる。 裏側のフィルムの左右、上下の終わりが、写真の線辺りに収まっていると良い。